

記入例

定期報告書

平成 24 年 ○ 月 ○ 日

岡山県知事 石井 正弘 殿

住所 岡山県○○市○○町田○○番地

[法人の場合には、その名称及び代表者の氏名]

氏名 岡山太郎

代表取締役 井笠 次郎

電話番号 ××× - ××× - ××××

印

家畜伝染病予防法第12条の4第1項の規定により、以下のとおり報告します。

家畜の所有者の氏名又は名称	岡山太郎			
家畜の所有者の住所	郵便番号 ○○○ - ○○○○ 岡山県○○市○○町田○○番地			
管理者の氏名又は名称	所有者と管理者が異なる場合に記載			
管理者の住所	所有者と管理者が異なる場合に記載			
農場の名称	岡山太郎(同上でもよい)			
農場の所在地	郵便番号 ○○○ - ○○○○ 岡山県○○市○○町田○○番地(同上でもよい)			
家畜の種類及び頭羽数	乳用雌牛			
	成牛	育成牛	子牛	
		頭		
	肥育牛（乳用種の雄牛及び交雑種の牛を除く。）			
	成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛
	頭	頭	頭	頭
	肥育牛（乳用種の雄牛及び交雑種の牛に限る。）			
成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛	
		頭	頭	

区分については「注意」をご参照ください。

家畜の種類及び頭羽数（続き）	繁殖牛			
	成牛	育成牛	子牛	
	肥育豚 (子豚を除く。)	繁殖豚		子豚
		成豚	育成豚	
	頭	頭	頭	頭
	採卵鶏		肉用鶏	
	成鶏	育成鶏		
	50 羽	羽	羽	
	その他 (馬)	その他 (山羊)	その他 (あひる)	その他 ()
1 頭(羽)	2 頭(羽)	3 頭(羽)	頭(羽)	
畜舎等の数	畜舎	5	心卵舎	ある場合のみ

区分については「注意」をご参照ください。

牛、豚、鶏以外はその他の()内に畜種を記載し、下段に頭羽数を記載してください

飼育している畜舎棟数もお忘れ

- 注意
- 1 頭羽数、畜舎棟数は毎年2月1日時点のものとする。
 - 2 「管理者の氏名又は名称」欄及び「管理者の住所」欄には、家畜の所有者以外に当該家畜の管理者がある場合に記入すること。
 - 3 家畜の区分は以下のとおり
 - (1) 豚・愛玩用・展示用の豚は「繁殖豚」に記載するとし、「成豚」とは月齢が満12月以上のものをいい、「育成豚」とは月齢が満3月以上満12月末のものをいう。「子豚」とは、離乳した豚であって月齢が満3月末のものをいう。(離乳前は記載不要)
 - (2) 鶏：「成鶏」とは日齢が満150日以上ものをいい、「育成鶏」とは日齢が満150日未満のものをいう。
 - (3) 牛：展示用や愛玩用の場合は、繁殖牛の欄に記載すること。「成牛」とは月齢が満24月以上のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月以上満24月末のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月末のものをいう。
 - 4 「家畜の種類及び頭羽数」の「その他()」の欄には、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、いのしし、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥及び七面鳥のうち、その種類ごとに該当するものを括弧内に記入の上、その頭数(羽数)を記入すること。
 - 5 添付書類：以下の場合は飼養衛生管理状況などの添付書類が必要です。詳しくは家畜保健衛生所にお尋ね下さい。
 - ①牛、水牛、馬、：2頭以上
 - ②鹿、めん羊、山羊、豚、いのしし：6頭以上
 - ③鶏、あひる、うずら、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥：100羽以上
 - ④だちょう：10羽以上
 - 6 牛、豚、鶏の農家の方で家畜保健衛生所の通知に基づいて報告される方は、愛玩家畜も合わせて報告してください。別に報告する必要はありません。